



2016年4月発行

TEL&FAX: (0265) 39-2205

E-mail: mtl-muse@osk.janis.or.jp

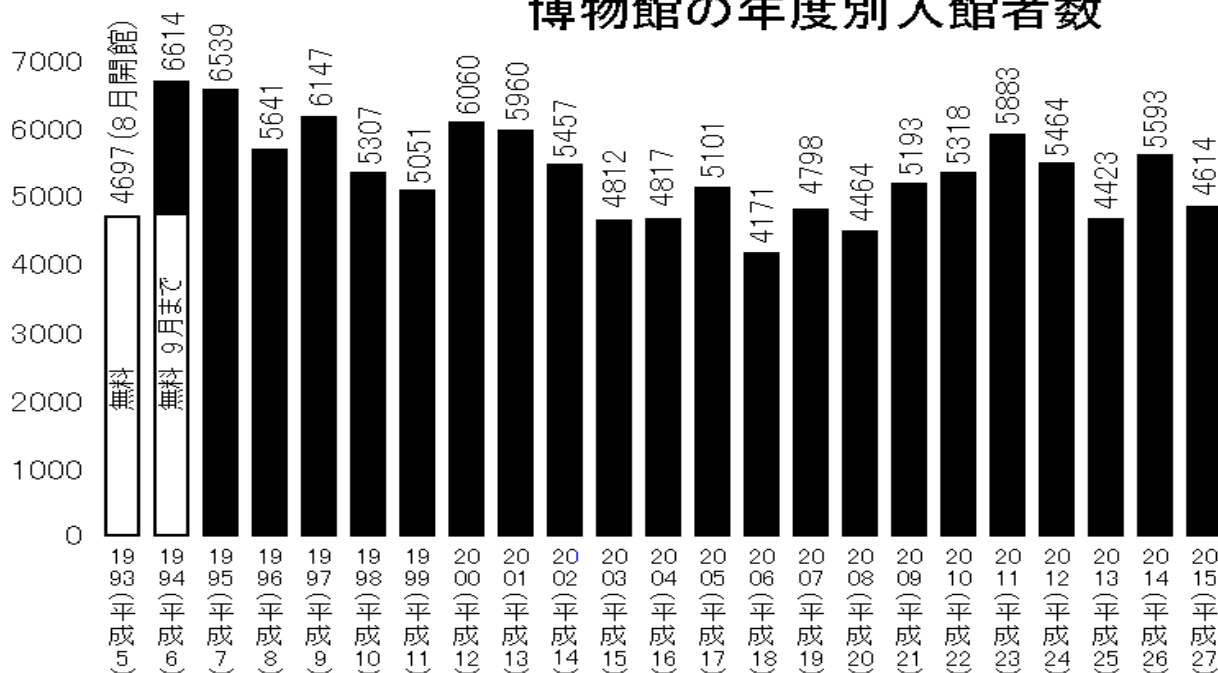
博物館の学芸員補が代わりました

2年間働いてくれた榎原貴志君が村外へ転職し、4月から宮崎裕子さんが新たに学芸員補になりました。宮崎さんは大学と大学院で地形学を学び、観測機器の会社のシステムエンジニアとして地震の研究所で働いていましたが、退職して大鹿村へ移住されました。博物館の事務とホームページや博物館たよりを担当しながら地質を勉強し、将来は学芸員を引き継いでいただくつもりです。温かいサポートをお願いいたします。

昨年度の入館者は4612人

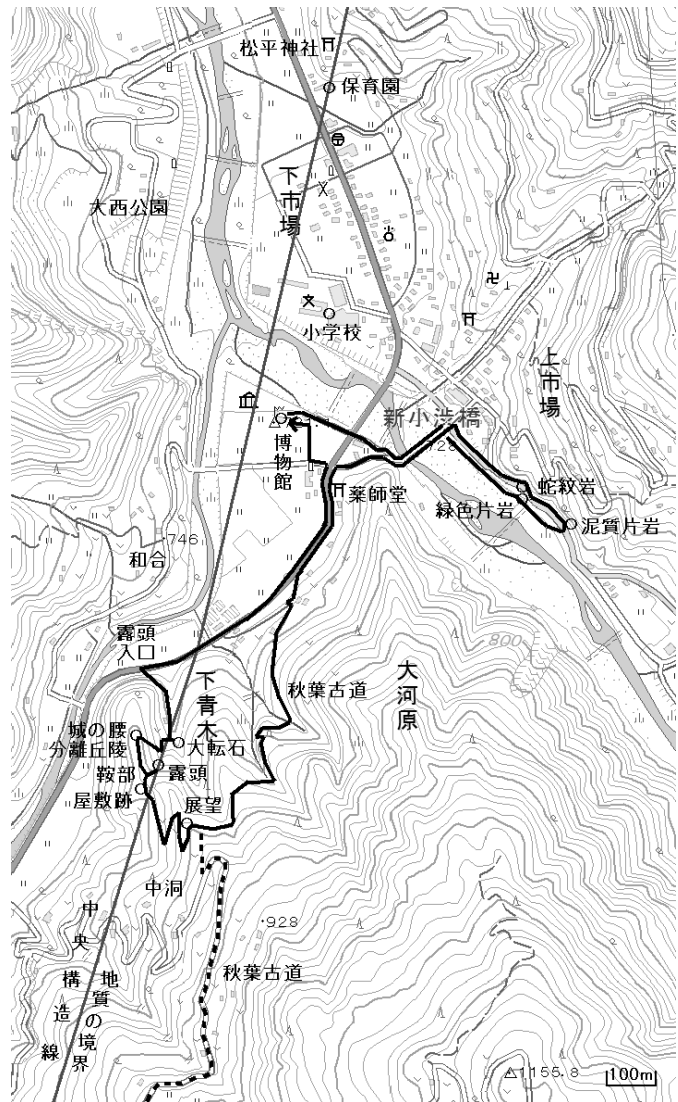
1993年(平成5年)8月の開館以来、のべ12万2124人の入館者がありました。

博物館の年度別入館者数



下青木の秋葉古道と城の腰露頭の観察会

3月26日（土）午後、中央構造線の東側を歩きました。上市場の小渋川の崖に岩石がきれいにえています。秋葉古道から見ると、中央構造線の西側が東側より急斜面であることがよくわかります。城の腰の鞍部の旧宅は中央構造線の真上に建っています。城の腰の露頭は覆っていた土や木の枝を取り除いたので、西側の岩との境目がよく見えます。秋葉古道からの道を通れるようにし、道しるべを建てました。さっそくハイキングツアーのルートに使われています。



着任のごあいさつ

4月から地域おこし協力隊に着任し、博物館の業務に従事することになった宮崎と申します。博物館には学生の時に来たことがあり、中央構造線を挟んで岩の違いが鮮明で、強く印象に残っていました。その後、田舎暮らしに興味を持ち、あちこちの農村を訪ねて回る中で、山が近くて自然が豊かな大鹿村に魅かれて、この度、神奈川県からIターンすることになりました。新しい土地、新しい仕事で、はじめてのことばかりですが、早く村に馴染めるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしく願い致します。